



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 32-6443



ホームページ



原発再稼働ストップ

県民の皆さん、原発再稼働NO！の声を！

長岡市で開かれた東京電力の住民説明会に参加。納得できる説明なし。

正月早々の能登半島地震を受け、原発の再稼働や原発事故時の避難などについて、身近な問題だと受け止め、不安を抱いている人が多い。4月6日、長岡市で開かれた東電の「説明会」に約150人が参加、遠藤れい子も質問しました。

噛み合わせぬ東電の説明

東電の説明内容は、相変わらず「これだけの安全対策を行なっています」という自己PRに終始。

次々と質問や意見表明がありました。東電側は総じて正面から回答することがなく、質問は1回のみで、質問者が「そういうことを聞いているのではない」と反論もできないやり方でした。「対話の為に」と言っ

開催した説明会が、全く對話になっただけです。参加者の多くが不安と不満と不信が増幅したようです。
質問 事故が起きた時どう避難するのか？東電は避難のために何かしてくれるのか？

回答

事故を起こさないよう全力を尽くす。万が一の事態では、悪化している発電所の状況を知らせ、ベントに至る予想時刻などをお知らせする。

原発は電気の安定供給、低廉な価格の維持、CO2排出抑制のために必要。原発の建設には地元同意は必要だが、再稼働には必要ない。と言いつつ切っていました。
安心できないこと鮮明に
こんな回答をもらっても、

何ら安心できません。住民の不安に正面から寄り添った答えではありません。
再稼働ストップの声を更に大きく、急ぎ広げよう
再稼働へ前のめりの東電の説明会。これで「住民対話は終了、了解を得た」ことにするのはないか。

3月31日、東京都千代田区

の学士会館で開催された成月流華道創流90周年記念祝賀会に出席しました。生演奏の中でフランク・スクリューの演奏をたのしみながら、華道の歴史・価値について学んだ祝賀式でした。

学士会館は東京大学発祥の地で、1913年1月に作られました。同年2月の神田三崎町の大火で焼失。復興めざし1923年9月1日に基礎工事を開始する予定が、当日に関東大震災が起きて計画は延期に。

この「暴走」を止めるために、「再稼働ストップ」の県民の声を更に強く大きく、急いで広げることが必要です。

コンクリート造りで建設されました。

戦後GHQに接収され、昭和31年に返還。2003年に国の有形文化財に登録されました。扉も重厚で歴史を感じました。半沢直樹など多くのドラマの撮影に使われています。

今年12月、道路拡幅のため7メートル移動する工事が行われるとのこと。文化財は大切に守っていきたくですね。



説明会は撮影不可。2019年11月福島の中学校を視察。被災時のままである。

遠藤れい子の笑顔でファイト

1928年、関東大震災の教訓をいかし、当時極めて珍しい耐震・耐火の鉄骨鉄筋



素敵なホールで心もキリッ

成月流華道創流90周年記念祝賀会

